

となりの

乳王さま 終幕

YO-METSUDO
PRESENTS
Fate/SN・FGO Fan Book

成人向

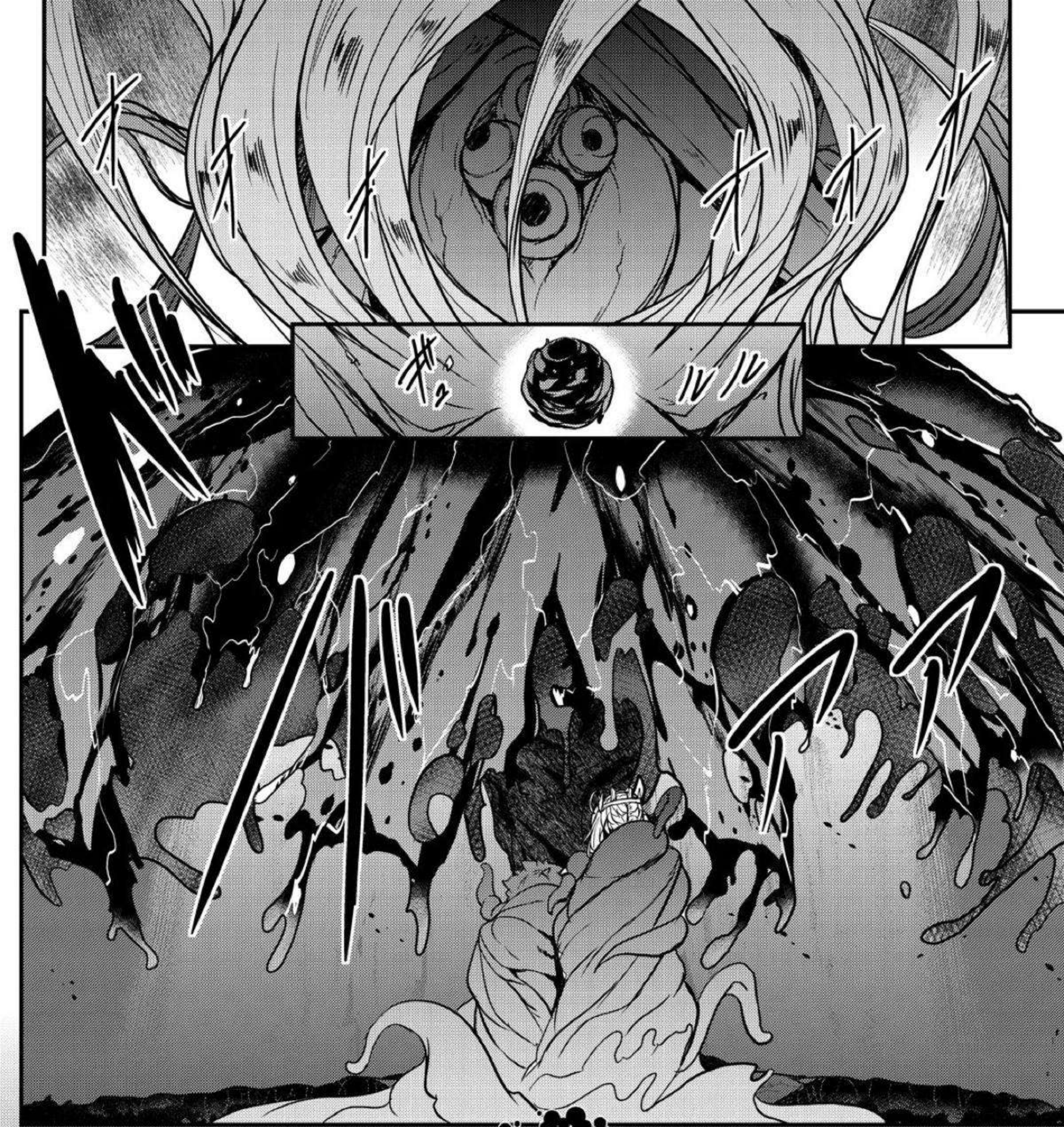
R18

18歳未満の
購入・閲覧禁止









さあ改めて
儀式を始めよう
黒聖杯の誕生を

ぬちっ

シロウ!
大丈夫ですか?

ぬちっ

う……うん
俺は大丈夫……

どうか
気をしっかり
持ってください……

ザッ

でもセイバー……
この中は

はい……奴の
黒聖杯本体の
内側かと思えます……

汚染される前に
ここから
抜け出さねば

いじめる

カッ

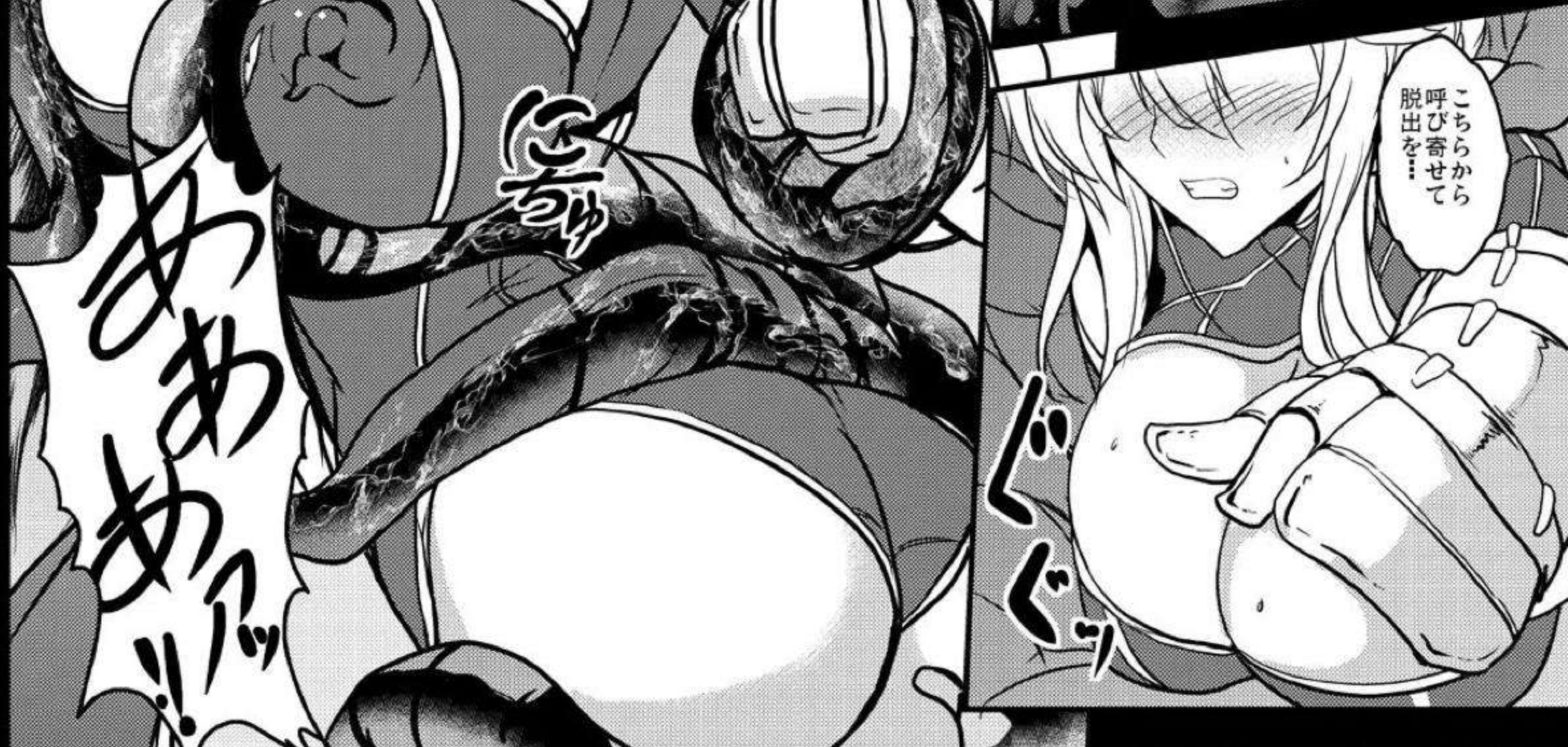




聖剣は…

余計な真似は
許さないよ…
アルトリア…

肉塊の中ですが
近くに反応が…



こちらから
呼び寄せて
脱出を…



セイバー…!

ぐっ！
壁から触手が…!

じゅる

おにゅ



以前のよう
に手加減は
しない…

セイバーッ!!

ぬちゅ

ぬちゅ

士郎くん共々
我が肉体と
なってもらう!

にちゅ



俺の身体が
目的なんだろ!
ならば
俺だけを狙え!

お前達も二人で
共に朽ち果てるならば
本望じゃないのか?

アンリマユ!
お前ッ!

セイバーに
手を出すなっ!

お前達二人でないと
駄目になったのだ!
観念したまえ

ああ…そうしたいのは
重々承知なのだがね…
こちら『時間』が
ないのだよ…士郎くん



今は
機が熟するのを
待つのです…

で…でも…
このままでは
セイバーが先に！



いいえ！
まだです
シロウ…

えっ…？



くっ…
セイバー…
ゴメンっ…

「アレ」を投影する！

窮地を脱出
する方法は
他には…



アンリマユが
隙が出来た瞬間が
必ず来ます…！

だから…
最後まで
私を信じてください



この程度の凌辱…
今の私なら
耐えられます

切り札をやツに
悟られては
いけません…

セイバー…

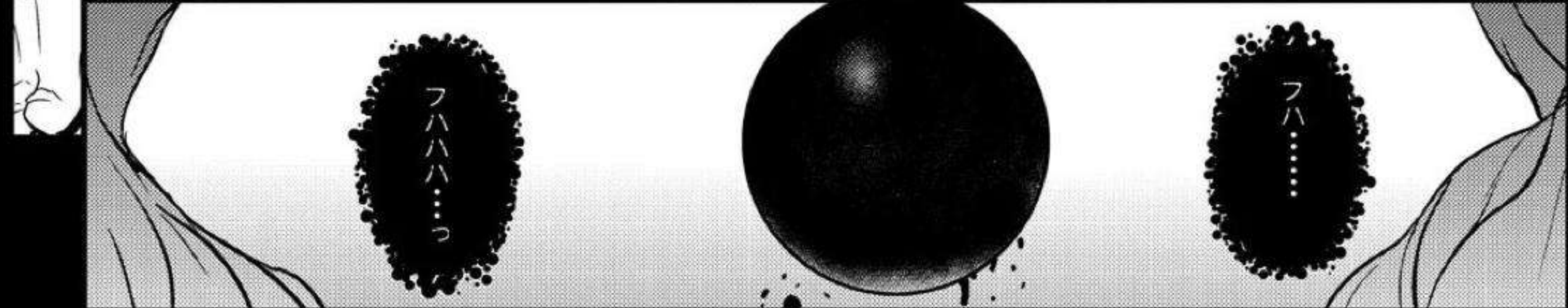
ああ……っ！
信じるぞ
セイバー！

その士郎くんの
肉体も
君の身体も魔力も

フハハ……
泥の汚染が
全身に巡ったか
良い……

どうか
安心して欲しい

黒き奇跡の
成就の為に
大切に使われるんだ



今こそ
我が願望を……！

衛宮切嗣
世界平和の成就を！

今です！
シロウツ！

トレース・オン
——投影、開始





グッ……

黒聖杯を
作り出す瞬間を
狙ってたのか！

おのれッ！！



もう手段は
選ばぬ！

肉塊になろうと
構わん！

再び
お前たちを
呑み込んでくれる！



……体は

……体は剣で出来ている。

危険が迫った時
その花を
彼女と二人で
咲かせるといい

この花は
幾多の君の記憶を
見せてくれる
特別なものだ

君に秘められた
力を引き出す
その代償として

大切な記憶と夢を
忘れてしまう

それでも
これを...

...そう
迷いは
ないんだね。

うん
考えるまでもないよ
何故なら...

それで大切な人を
守れる
正義の味方に
なれるのなら...

—ならば
我が生涯に
意味は不要ず

—俺は...ッ!

この体は
無限の剣で
出来ていた!

ロー
熾天覆う

アイアス
七つの円環





セイバアアーツ!!

俺の魔力! 想い!
全て剣に託す!!

アイツに...!
勝利の一撃を!!



約束された

エクス





勝利の剣 アアア !!

カリバー









大切な人を…
自分の力で…

セイバーが
無事で良かった…
やっと…
守れた

シロウ…
しっかりして
ください！



シロウ！
喋らないで！
どうか安静に

この身体から
内包された剣は
一体…？

まさか…
彼の魔術による
暴走した現象…？



そりゃ
そうだよな…
俺の想像以上に
力使って
投影魔術
成功したもんな…

親父が見てたら
褒めてくれたかな…？
でも…



アヴァロン！
アヴァロンで
今すぐ治療を…ッ！

セイバー
すごい…
疲れちゃった

ブ
ブ
ブ







……

安心してくれ……



もう戦わないさ……
アルトリア

なっ!?

それに……
僕の願いは
「既に」叶えられてた

君達と同じ
残酷だけど綺麗な
光景……



その「光」は
生前の僕にも
きつと
在った光だったのだろう……

ならば一体……



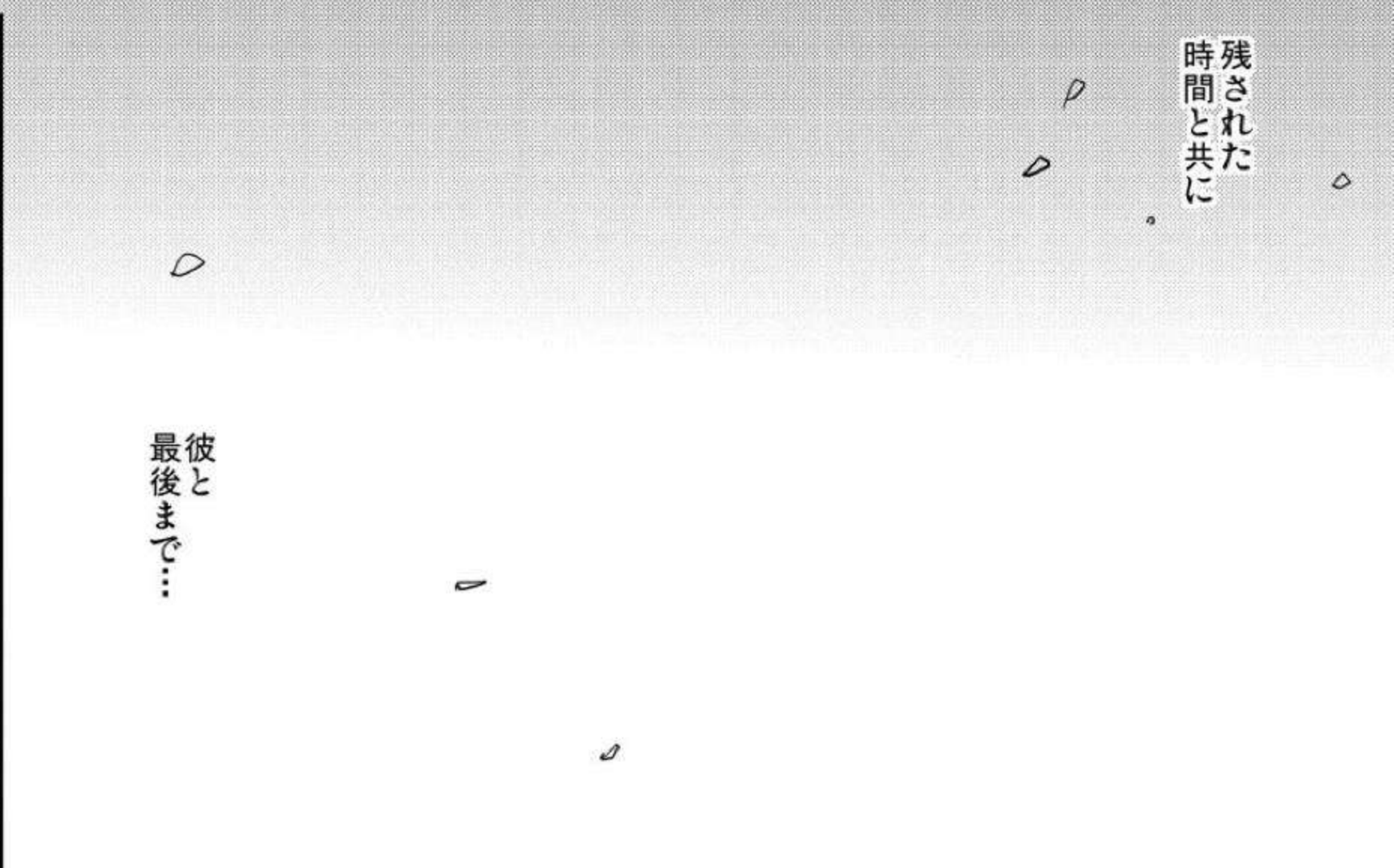
ポロポロの少年と
抱きかかえる
大人が涙を流す
その綺麗な光景……

親と子
血の繋がらない者
同士でも
ああやって涙し、
救おうとしてる姿……



そう……
あの綺麗な光景に
「光」に
僕は憧れたのだ

親と子
血の繋がらない者同士でも
ああやって涙し
救われるものなのかと……





——ここは
……以前にも

俺の……夢の中……
なのか……？



この暖かな感触……
覚えが……

これは……

シロウ……

シロウ！



シロウ……
良かった……

目覚めましたか
シロウ

ああ……
おはよう……

~~あれ……~~
あれ……？

俺は……
死んだの……？

いいえ、無理は
出来ない状態です

今の貴方は
万全では
ないのです

アイツとの
戦いは……皆は？

はい……戦いは
終わりました
カルデアの者達も
きっと無事でしょ

……っ
ううっ……

どうしましたか？
シロウ

俺……俺……

はい……

全てが終わって
また日常が
戻って来るのに

何故か
不安なんだ……

大丈夫です

シロウ
もう不安に想う事は
ないのです



いくつか思い出が
消えてしまってるのは
感じたが...

大事な人に
同じ贈り物を
貰ったのは
これで二度目な気がする...



この全てを包み癒やすような温もり…
母の温もりにも似た暖かな光…



心も身体も…包みこまれる…
でも…この暖かさも…いつか陽が落ちるように





……が…どこか遠くへ行ってしまうのでは…



さっきから
何故…
大事な人の名前が
思い出せないんだ…

今…
思い出さないと
いけないのに…
こんなに苦しく
切ないのに…
何故…ッ！



—ううっ…

っく…ッ！





シロウ…

貴方を…
愛しています







遅かれ早かれ
きっと冬木は
二度目の大火災が
起きてたと思う……



それは
違うよ……

例え
藤丸達が来なくても
あの泥達が
街中の人達を
飲み込んでたと思うし

冬木にとって
藤丸達は
間違いなく
『正義の味方』だったよ



そうか……
うんっ……

……でも
士郎くん
君は
寂しくないのかい？



名前が思い出せない
あの人が
いなくなっても

俺は再び
ひとりで頑張って
歩いていだけさ



……寂しくはない
と言え
嘘になるけど

俺、元々
災害孤児だったし

親父……爺さんが
いなくなっ
てから
一人でも頑張れるように
努力してきたから



お……っ
オルタ
!?



だから……

!?



だが
心配するな

想い続ければ
再び運命が
相まみえる時がくる

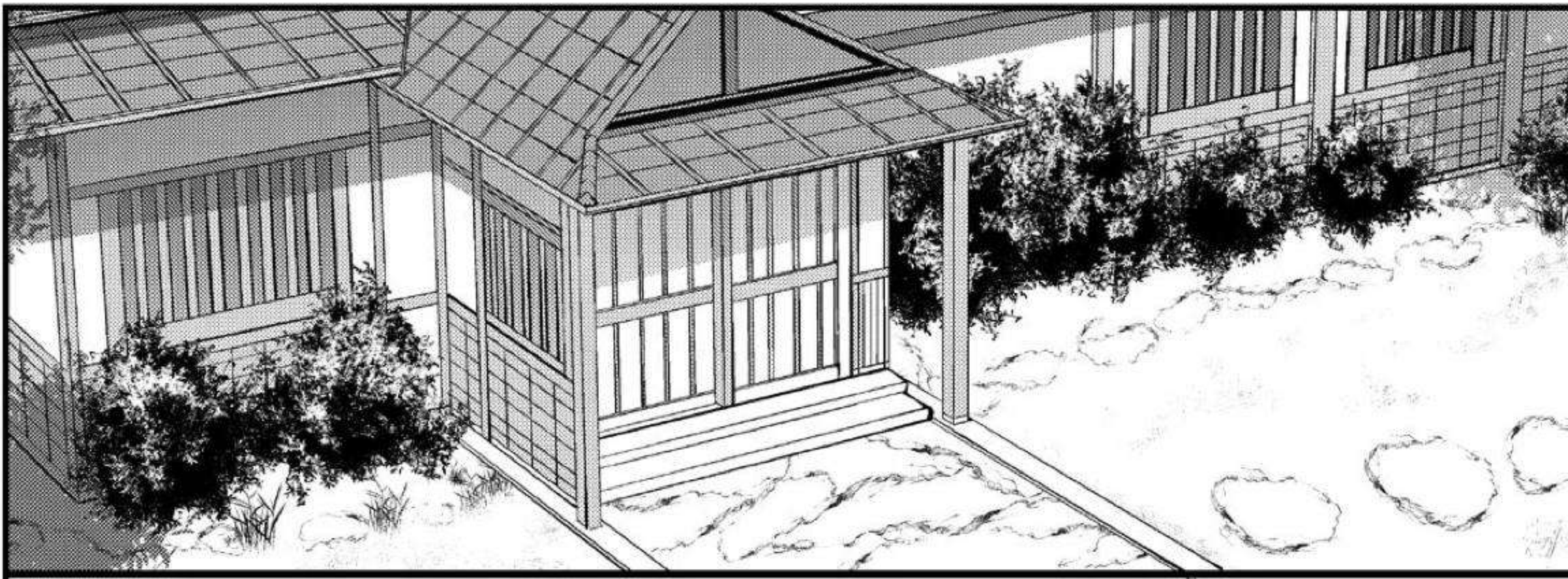
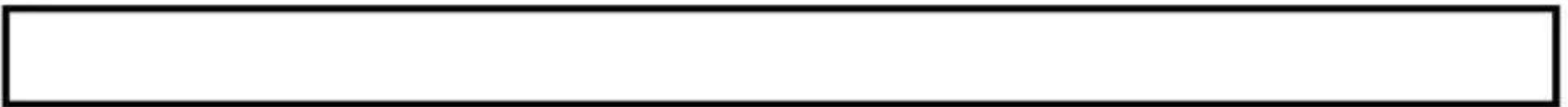
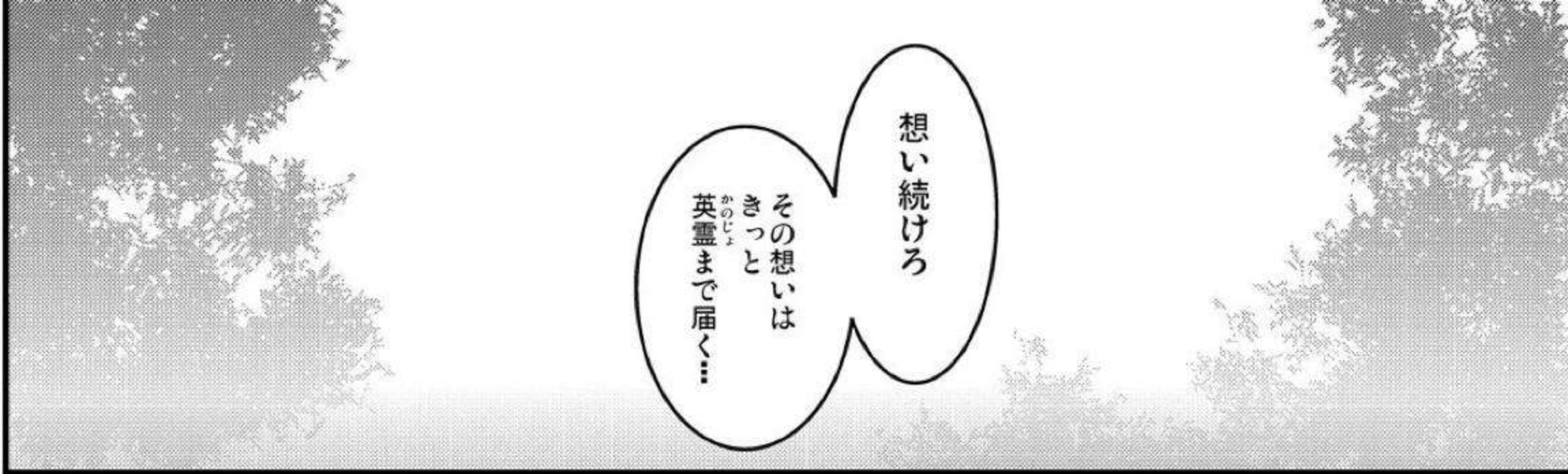


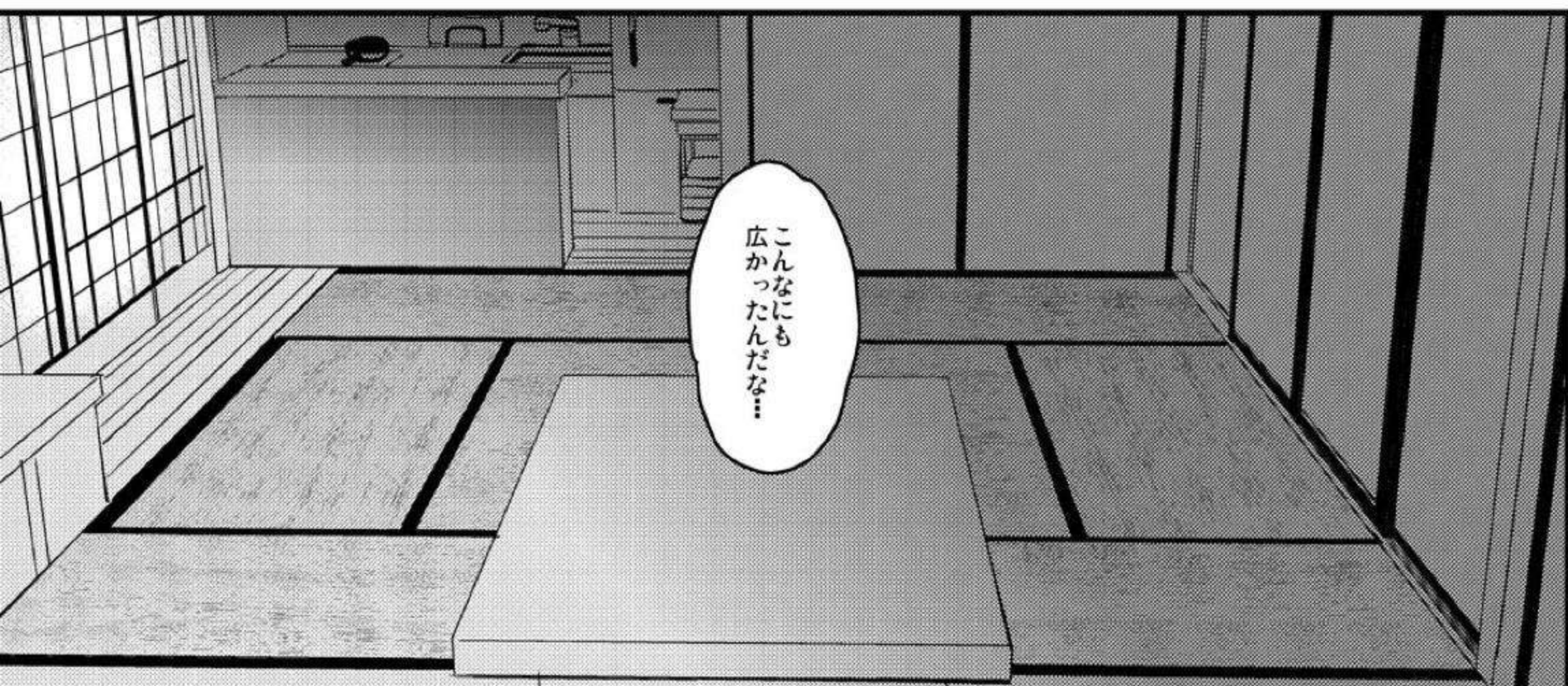
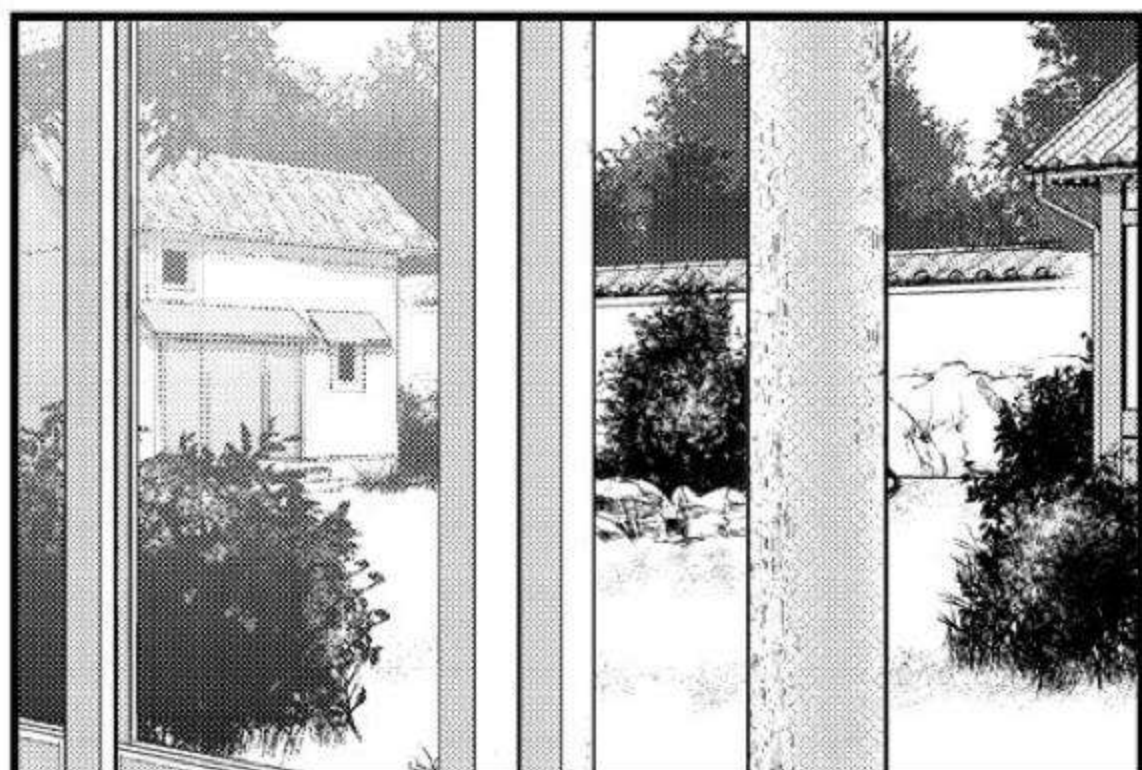
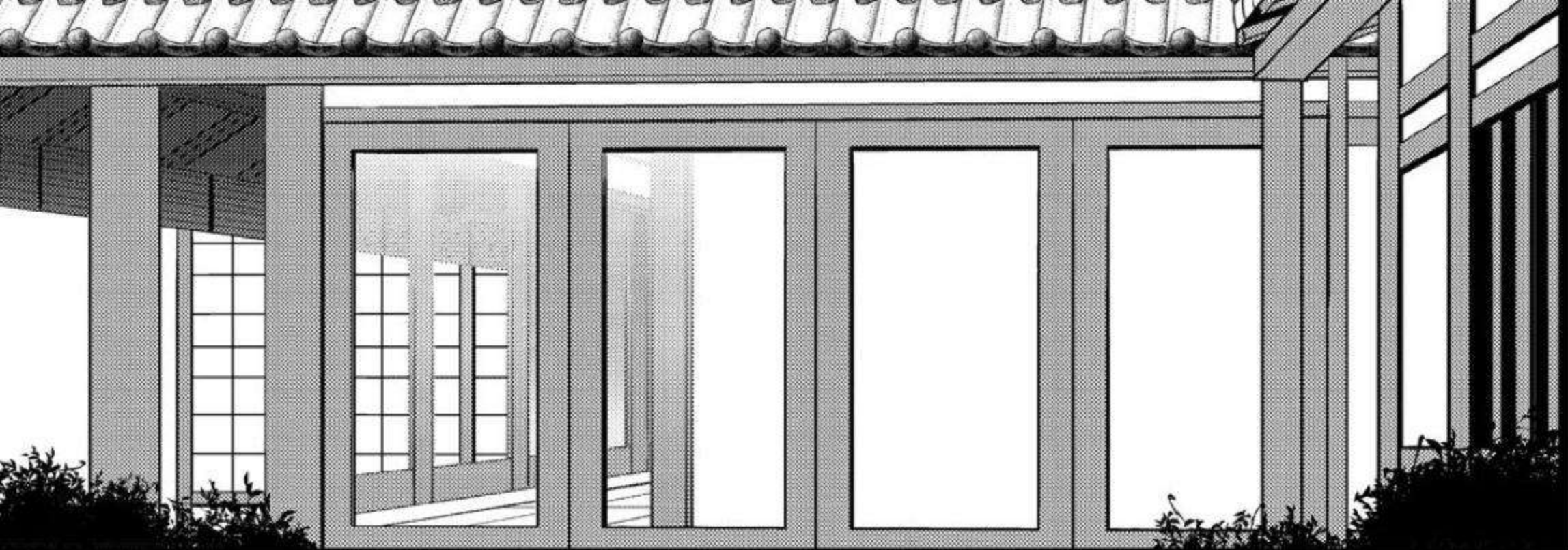
私達、英霊とは
そういう物だ
だから……

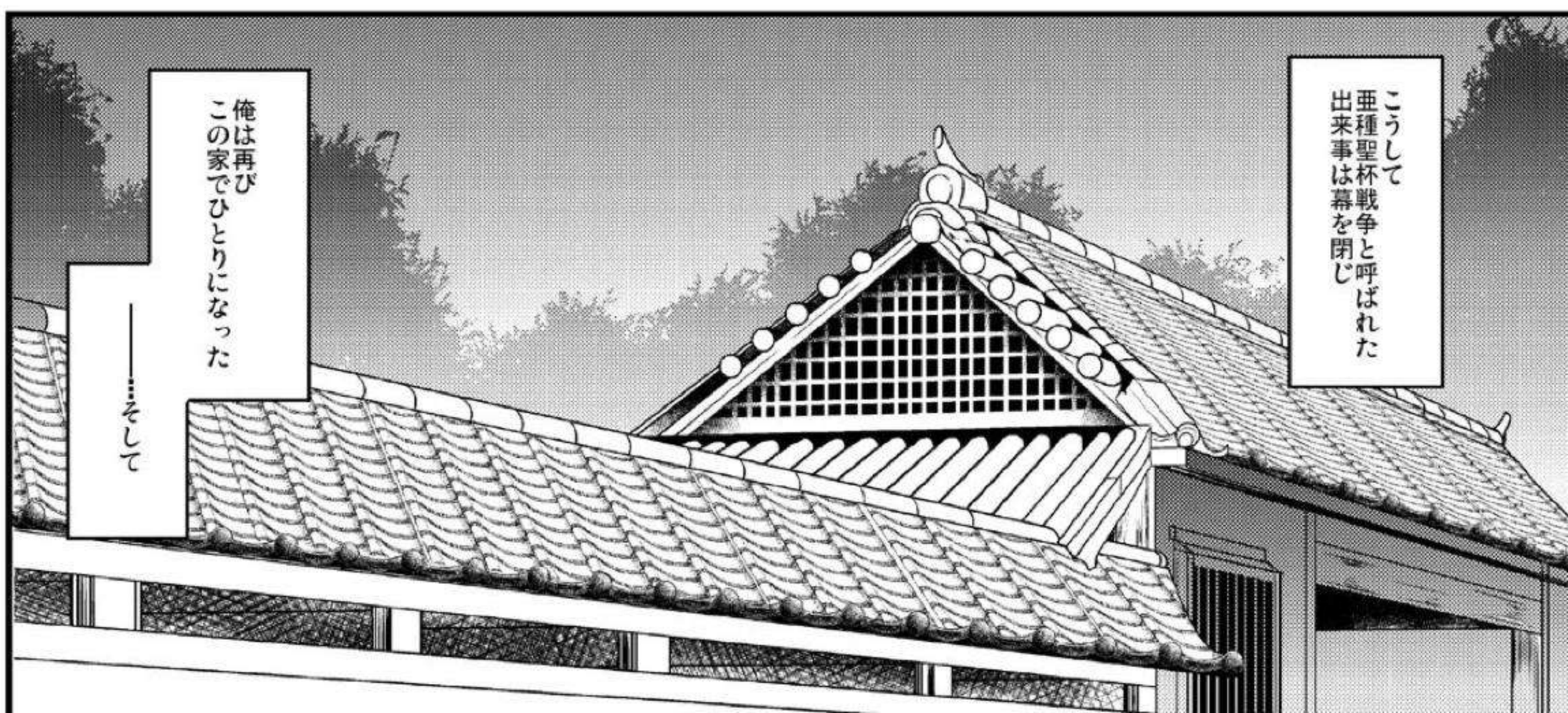
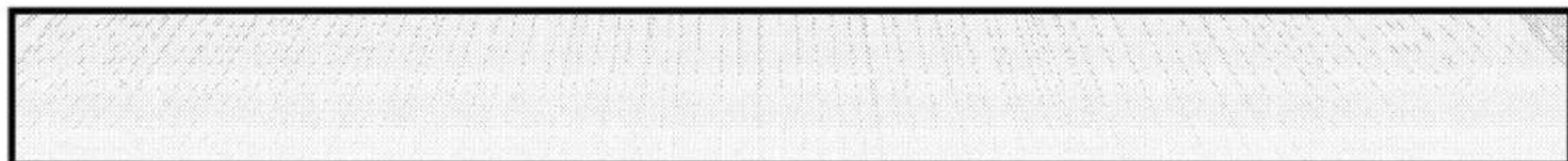
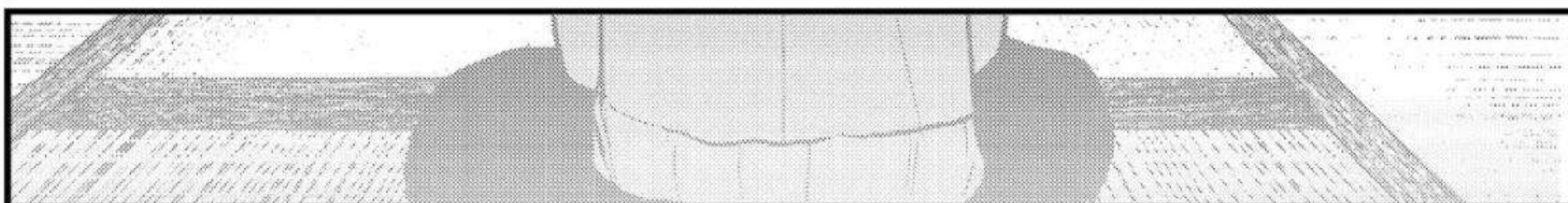


気負わなくてもいい
シロウ……

今は心が空虚で
何をやっても
埋められないだろう







■あとかき■

■そんな訳であとかきです。

ようやく10作目で「乳王」シリーズの最終回を迎えることが出来ました。
思えば始めから槍トリア x ショタ士郎で母性愛やおねショタ
そして限られた時の中で描ける物語をと心掛けてきましたが
この後のラストの着地点を描きたい為に
色々盛り込んでいけて良かったと思います。

士 x 剣でFGOから広がった無限の可能性や
様々な語りたい事もいっぱいあるのですが
そんな意欲を作りたくなるコンテンツや作品を生み出してくれた
TYPE-MOONさまに万感の感謝を贈りたいです。
本当にありがとうございました。

■奥付

■発行:妖滅堂

■発行日:2024・12/30 初版

■著者:ヤサカニ・アン

■印刷:サンライズ様

■連絡先 e-mail: yasakani3@hotmail.com

Twitter: <https://x.com/yasakani>

■18歳未満の方の購入、閲覧を禁止します。

また、この本の一部、または全ての無断転載や複製

インターネット上でのアップロードやファイル共有等を禁止します。



pixivFANBOX

となりの

乳王さま終幕



坊主 | 詰めだ



まあ
見られたからには
死んでくれや...

は...

は...



雇い主の決まりで
悪いんだが

は...

は...



微弱だが
魔力を感じるな

なるほど…

若すぎるが
お前が七人目の
マスターだったかもな



ふざけるな…

ふざけるな……ッ！



俺は生きて
あの人に
逢わなければいけない



簡単には
死ねない…！

名前を忘れた
大切な
あの人に！

俺は—

こんな所で
意味もなく

殺されて
やるものか——ッ!!

俺は—

こんな所で
意味もなく

殺されて
やるものか——ッ!!

俺は—

こんな所で
意味もなく

殺されて
やるものか——ッ!!



七人目の
サーヴァント!?



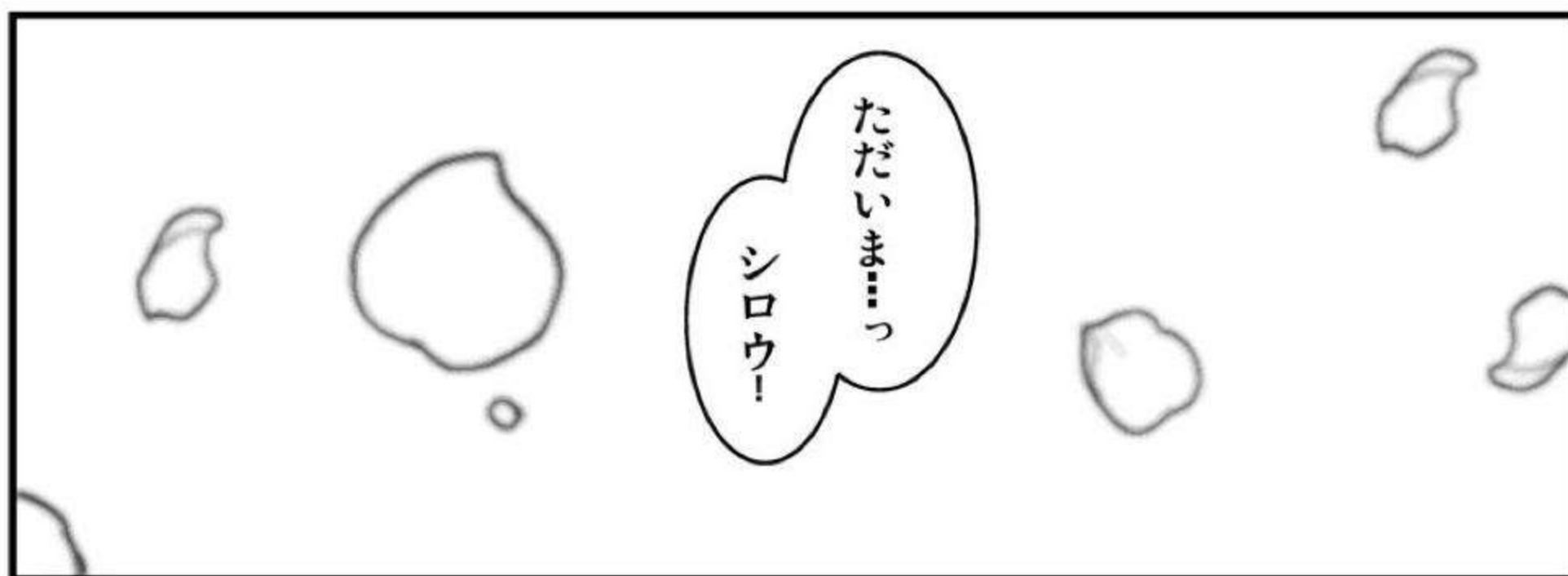


問
おう



——貴方が
私のマスターか





FIN



となりの

乳王さま終幕

YO-METSUDO

PRESENTS

Fate/SN・FGO Fan Book